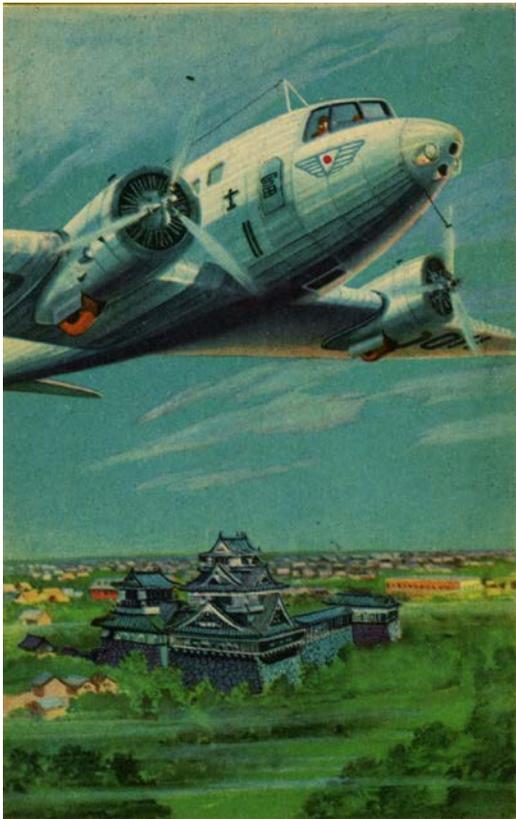


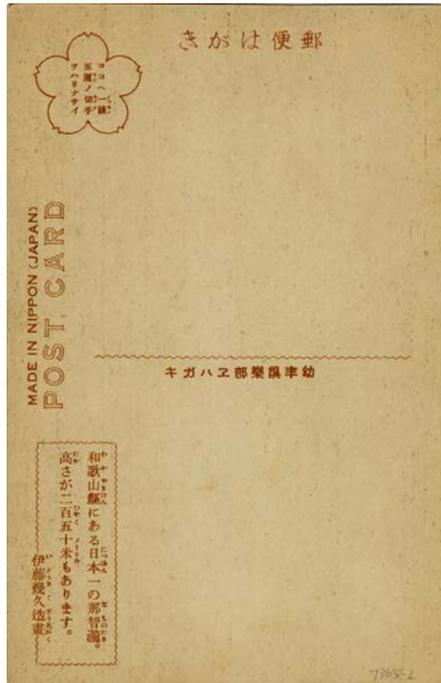
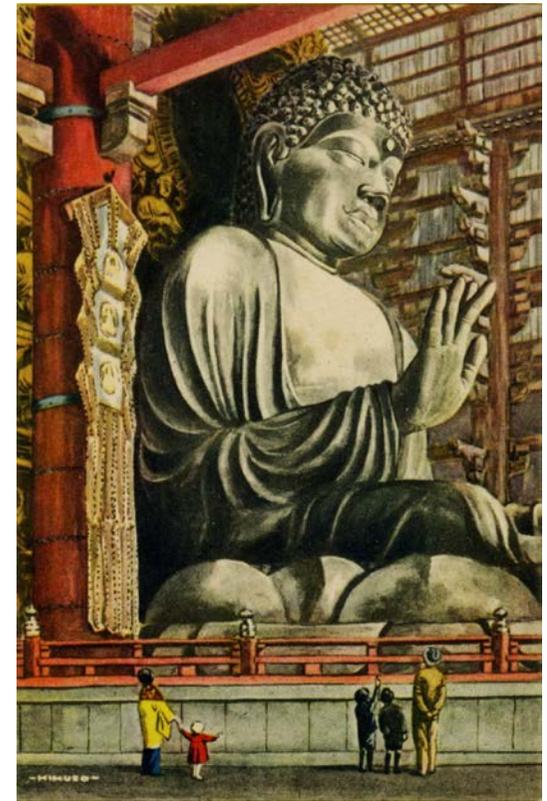
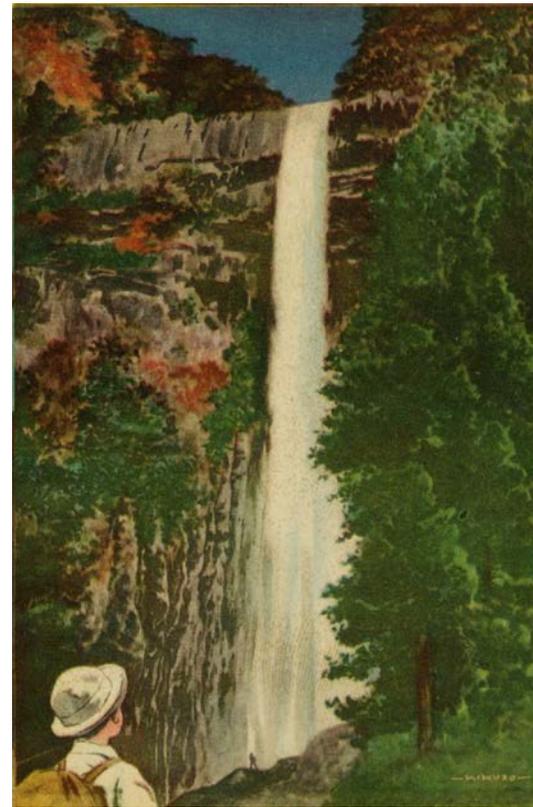
日本一エハガキ

幼年倶楽部 昭和11年(1936年)11月号付録



埼玉縣寶珠花村であげる大風は日本一といはれ、縦十六米、横十二米もあり、目方はあげ糸までいれると、七百五十疋もあります。
田代 光畫

熊本城の上をとぶ、日本一大きい旅客機ダグラス型「富士」號。福岡と臺北の間を七時間でとびます。
飯塚 裕兒畫



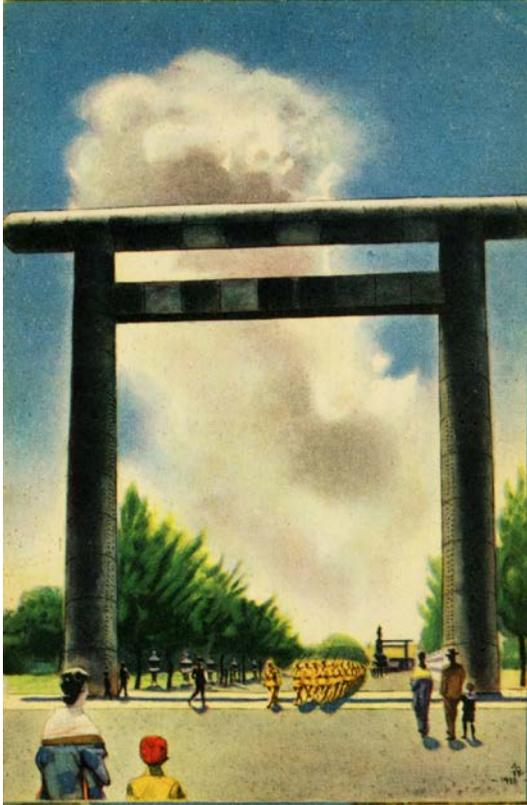
和歌山縣にある日本一の那智瀧。高さが二百五十米もあります。
伊藤幾久畫

奈良東大寺にある、日本一の青銅の大佛。今から一千二百年程前につくられ、高さ十六米餘あります。
伊藤幾久畫

←裏返したところ。裏の絵の解説が載っています。
ほかに、
「ココヘ一銭五厘ノ切手ヲハリナサイ」
「MADE IN NIPPON (JAPAN) POST CARD」
「幼年倶楽部エハガキ」
などの文字も見えます。

日本一エハガキ

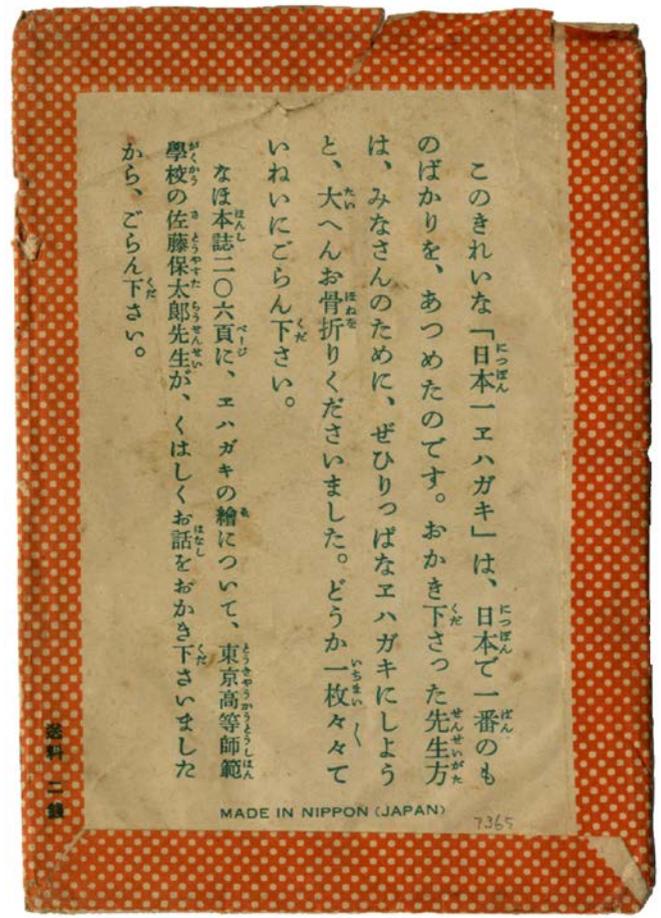
幼年倶楽部 昭和11年(1936年)11月号付録



東京九段坂上にある靖國神社の、日本一の青銅の大鳥居。高さ、二十一米もあります。
田代 光畫



森湖の下淡水溪といふ川にかかられた、日本一長い鐵橋。長さが千五百三十五米もあります。
伊藤幾久畫



日光東照宮にある陽明門。きれいなこと日本一といはれ、これをながめてみると、日のくれるのも知らないといふので「日ぐらし門」ともよばれてゐます。
金子士郎畫

日本一の山—富士山と、その下を走る日本一速い超特急つばめ號。
飯塚玲兒畫



焼夷弾で穴のあいた天井
上左：見上げたところ
上右：普段は見られない裏側

下左：穴の周囲(裏側)
下中：焼け焦げた部分(裏側)
下右：薬品が飛び散った跡(裏側)

